

# 漢方薬(医療用漢方製剤および煎じ薬)の保険適用継続を求める

## 決議文

「日本臨床漢方医会」は、漢方を擁護し普及することを目的とする医師の会です。

「漢方薬」が、医療費削減の流れの中で保険の適応から除外される動きが再三起つていきます。この様な情勢の中で、このたび日本東洋医学会が「漢方薬の保険適用継続を求める決議」を行いました。そのなかで日本東洋医学会は、健康保険による診療に漢方が不可欠である理由を次のように述べています。

1. 総合的な診療をおこなう医師にとって漢方薬はなくてはならないものである<sup>1)</sup>
2. 漢方薬は医療費削減に寄与する<sup>2-4)</sup>
3. 漢方薬は高齢者医療に不可欠である<sup>1)</sup>

1) 漢方薬使用実態・意識調査 2012 日経メディカル開発

2) 赤瀬朋秀、他;かぜ症候群における薬剤費の薬剤疫学および経済学的検討—漢方薬と西洋薬の経済性における比較研究— 日本東洋医学雑誌50(4),655-663, 2000

3) 下手公一、他;療養型病床群における漢方治療導入の医療経済効果 医療経営情報No.113, 16-18, 1999

4) 今津嘉宏、他;大腸癌手術における大建中湯投与の入院日数短縮効果について Prog. Med. 24, 1398-1400,2004

「日本臨床漢方医会」も、この日本東洋医学会の決議に全面的に賛同し、漢方薬(医療用漢方製剤および煎じ薬)の保険適用の継続を求めて、さらに活動を行ってまいります。

「漢方」は、まさに日本の伝統医学であり、実際に「漢方薬」は医療の現場において広く使用されています。また西洋医学だけでは対応しきれない難病や様々な愁訴を抱える人々を救うるものでもあります。さらに世界一の高齢化社会となった日本においては、医療経済的な面からも欠くべからざるものであることは疑う余地がありません。

日本臨床漢方医会は、国に対しても、漢方薬が健康保険の適用から除外されることなく、今後も継続して保険適用されるよう強く要望いたします。

平成 26 年 8 月 1 日

日本臨床漢方医会